



CHAPTER 2

Cisco VXC Manager のインストールおよびアップグレード

この項では、Cisco VXC Manager をインストールおよびアップグレードするために実行する必要のある詳細手順について説明します。



注意

Cisco VXC Manager のインストールまたはアップグレードを開始する前に、[第 1 章「インストールの準備」](#) で説明されているインストール前の要件をすべて満たしていることを確認します。さらに、[付録 A「Cisco VXC Manager のアンインストール」](#) で説明されているとおり、以前インストールした Cisco VXC Manager は削除するようにします。

Cisco VXC Manager は、単一サーバ（標準インストール）または複数サーバ（カスタム インストール）に次の Cisco VXC Manager コンポーネントをインストールします。

- Cisco VXC Manager Database（データベース）：ロギング、パッケージ、ユーザ データ、およびリモート ソフトウェア リポジトリ情報など、デバイス管理用の情報をすべて保存し、それらの情報へのアクセスを提供します（この Cisco VXC Manager Database のインスタンスは、Cisco VXC Manager 環境に 1 つだけ存在できます）。
- ソフトウェア リポジトリ（リポジトリ）：開発に使用する Cisco VXC Manager パッケージを保存します（カスタム インストールでは、Cisco VXC Manager 環境で 1 つのマスター リポジトリと、複数のリモート リポジトリを使用できます）。
- Web サービス（HServer）：HTTP/HTTPS を使用して、Cisco VXC Manager Web エージェントを搭載するデバイスに対するプッシュ通信およびプル通信を可能にします（カスタム インストールでは、Cisco VXC Manager 環境で使用するリポジトリ インスタンスの数だけ、この Web サービスのインスタンスを用意することを推奨します）。
- 標準サービス：Cisco VXC Manager による次の処理を可能にします。
 - Preboot Execution Environment (PXE) をサポートするデバイスでプリブート管理機能を実行します。
 - 以前の Cisco VXC Manager Web エージェントを最新の Cisco VXC Manager Web エージェントにアップグレードします。

（標準サービスのインスタンスは、Cisco VXC Manager 環境に 1 つだけ存在できます）。

- Administrator Console（MMC スナップイン）：ユーザ インターフェイスを使用して、すべてのネットワーク デバイスを簡単に素早く管理できます（カスタム インストールでは、Cisco VXC Manager 環境でこの Administrator Console のインスタンスを複数使用できます）。



ヒント

Cisco VXC Manager コンポーネントは、異なるサーバ上に個別にインストールできます。

インストールおよびアップグレードの手順 (Cisco VXC Manager)

Cisco VXC Manager のインストール ウィザードでは、新規インストールとアップグレード インストールのどちらが必要かを自動的に検出し、処理が進められます。



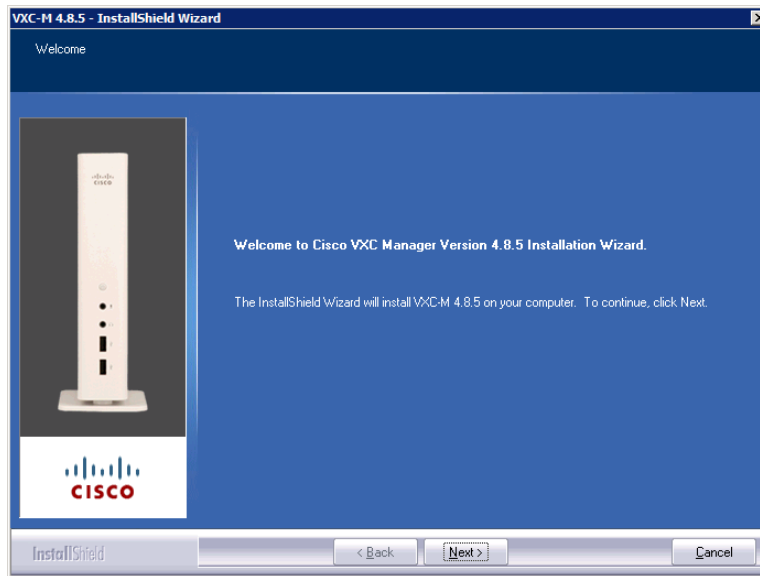
ヒント

Cisco VXC Manager コンポーネントを複数のマシンにインストールまたはアップグレードする場合 (カスタム インストール)、ご使用の環境設計に応じて、このマニュアルのインストール手順の一部を繰り返します。

Cisco VXC Manager をインストールまたはアップデートするには、次の手順に従います。

手順

- ステップ 1** Cisco VXC Manager ファイルをダウンロードし、Cisco VXC Manager をインストールするマシン上のフォルダに展開します。
- ステップ 2** **Setup.exe** をダブルクリックし、InstallShield ウィザードを開いて使用します。



次のガイドラインに従います。

- アップグレードする場合は、現在インストールされている Cisco VXC Manager の正しいシステム管理者パスワード (SA パスワード) を使用するようにしてください。
- 標準のインストールおよびアップグレードの場合は、デフォルトを使用します。InstallShield ウィザードの推奨設定を使用することを推奨します。
- カスタムのインストールおよびアップグレードの場合は、詳細手順に従ってください。「[カスタム インストールおよびカスタム アップグレードの詳細手順](#)」(P.2-3) に説明されている詳細手順に従います。
- インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。[Yes, I want to restart my computer now] オプションを選択し、ドライブからディスクを取り出した後、[Finish] をクリックします。

- ステップ 3** (任意) Windows ファイアウォールだけを使用 : Windows ファイアウォールを使用していて、Microsoft Windows XP Professional SP3、Windows Server 2003 (32 ビット)、または Windows Server 2003 R2 SP2 (32 ビット) と Cisco VXC Manager を実行している場合は、Cisco VXC Manager をインストールした後、使用する前に管理者としてログインし、Cisco VXC Manager DHCP プロキシ、Cisco VXC Manager TFTP、Inetinfo、および Rptservicelogs のプログラムを、[Windows Firewall] ダイアログボックスの [Exceptions] タブにある [Programs and Services] リストに追加する必要があります (Windows ファイアウォールの例外リストにプログラムを追加する方法については、Microsoft Web サイトで Microsoft 社のドキュメントを参照してください)。Cisco VXC Manager のインストールまたはアップグレードを行った各サーバでこれを実行する必要があります。

カスタム インストールおよびカスタム アップグレードの詳細手順

単一サーバまたは複数サーバでカスタム インストールを実行するか、カスタム アップグレードを実行するかにかかわらず、次の順序で Cisco VXC Manager コンポーネントをインストールまたはアップグレードする必要があります。

1. Cisco VXC Manager Database (データベース) : Cisco VXC Manager Database のインスタンスは、Cisco VXC Manager 環境に 1 つだけ存在できます。
2. ソフトウェア リポジトリ (リポジトリ) : Cisco VXC Manager 環境には 1 つのマスター リポジトリと、複数のリモート リポジトリを使用できます。
3. Web サービス (HServer) : Cisco VXC Manager 環境には、使用しているリポジトリ インスタンスの数だけ、Web サービスのインスタンスを用意することを推奨します。
4. 標準サービス : 標準サービスのインスタンスは、Cisco VXC Manager 環境に 1 つだけ存在できます。
5. Administrator Console (MMC スナップイン) : Cisco VXC Manager 環境には、Administrator Console のインスタンスを複数使用できます。

Web サービス (HServer)、標準サービス、Administrator Console (MMC スナップイン) のコンポーネントには MDAC 2.8 が必要であることに留意してください。MDAC 2.8 がサーバ上に存在しない場合、Cisco VXC Manager によってインストールされます。

インストールの選択内容によっては、インストール ウィザードにより、ユーザに必要な特定の処理が自動的に進められます。サーバに必要なコンポーネント グループごとにインストールまたはアップグレードする場合は次のヒントを参考にしてください (アップグレードではインストール ウィザード画面は表示されませんが、次の項に記載の情報は同じように参考になります)。

- 「Cisco VXC Manager Database インストール時に知っておくべきヒント」 (P.2-4)
- 「ソフトウェア リポジトリ インストールのヒント」 (P.2-7)
- 「複数の Administrator Console のインストール」 (P.2-9)



ヒント

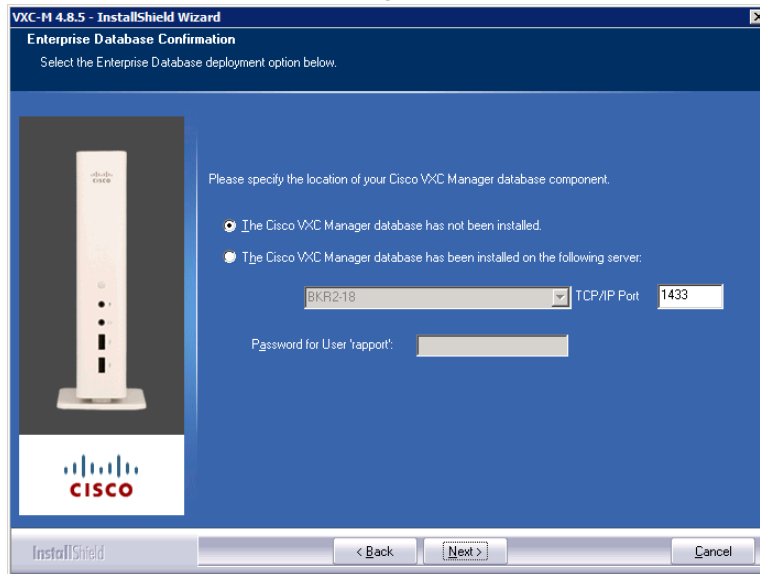
複数のマシンに Cisco VXC Manager コンポーネントをインストールまたはアップグレードしている場合 (必要なコンポーネント グループごとにインストール ウィザードを繰り返す必要があります)、コンポーネントをインストールまたはアップグレードしているサーバに適切なコンポーネントを選択してください。たとえば、InstallShield ウィザードを使用して 1 つのサーバに Cisco VXC Manager Database をインストールした後、InstallShield ウィザードを使用して別のサーバに他のコンポーネントをインストールします。

Cisco VXC Manager Database インストール時に知っておくべきヒント

インストールまたはアップグレード時にデータベースの設定を求められる場合、インストールの方法によっては、次の注意事項に従ってください。

- 新しい Cisco VXC Manager Database をサーバにインストールしている場合は、[The Cisco VXC Manager database has not been installed] オプションを選択するようにします。

図 2-1 Cisco VXC Manager Database の初回インストール



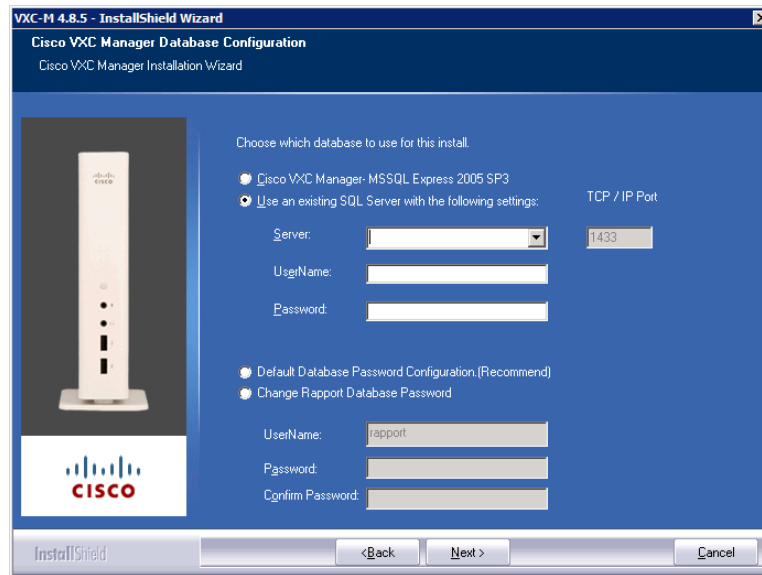
- Cisco VXC Manager Database の初回のインストール設定の際、既存の SQL Server を使用している場合は、サーバ名、TCP/IP ポート、および (rapport というデフォルト ユーザの) データベース パスワードを控えておき、他の Cisco VXC Manager コンポーネントのインストール時にこの情報を使用するようにします。Cisco VXC Manager Database の TCP/IP ポートを指定しない場合は、デフォルトの 1433 が使用されます (これは、データベース サーバが Cisco VXC Manager コンポーネントとの通信に使用するポートです)。



注意

[Change Rapport Database Password] オプションを使用する場合 (たとえば、会社のパスワード要件を満たすために)、Cisco VXC Manager のインストール時の使用や一般的なパスワードの回復のためにパスワードを控えておきます。

図 2-2 データベースの設定



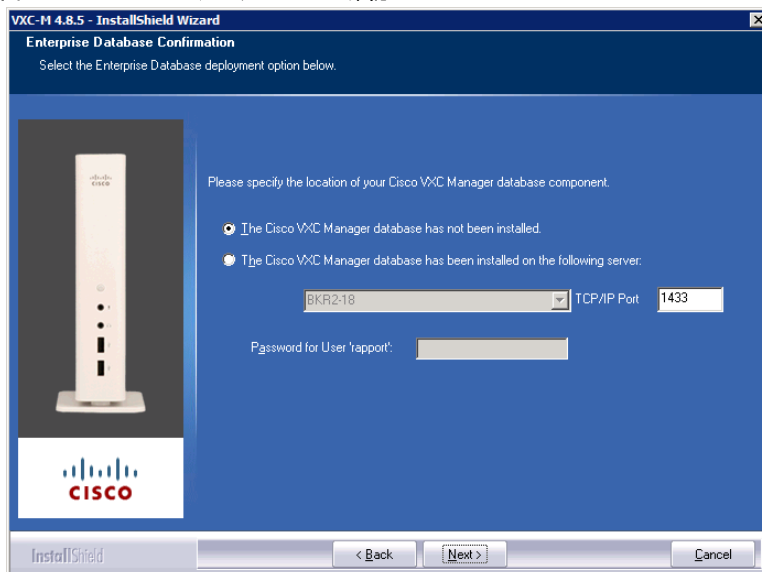
- Cisco VXC Manager Database に既存の SQL Server 2005 Express Edition を使用する場合は、SQLExpress サービスのアカウントとしてのログインを、次のようにローカル システム アカウントに設定するようにします。
 - a. サーバの [Start] メニューから、[Administrative Tools] > [Services] に移動します。
 - b. [SQL Server (SQLEXPRESS) Services] を右クリックします。
 - c. [Properties] を選択します。
 - d. [Log On] タブをクリックします。
 - e. [Local System account] オプションを選択します。
 - f. [Allow service to interact with desktop] チェックボックスをオンにします。
 - g. [OK] をクリックします。
 - h. SQL Server (SQLEXPRESS) サービスを再起動します。

図 2-3 SQL Server プロパティ



- 別のサーバに Cisco VXC Manager Database をインストール済みで、現在他の Cisco VXC Manager コンポーネントをサーバにインストールしている場合は、InstallShield ウィザードによって Cisco VXC Manager Database の確認が求められます。正しいサーバ名を選択し、正しい TCP/IP ポートおよび (rapport というデフォルト ユーザの) 正しいデータベース パスワードを入力してください。これらは、Cisco VXC Manager Database のインストール時に入力したフィールドです。Cisco VXC Manager Database の TCP/IP ポートを指定しない場合は、デフォルトの 1433 が使用されます (これは、データベース サーバが Cisco VXC Manager コンポーネントとの通信に使用するポートです)。

図 2-4 データベースの確認



- Windows 認証モードだけを使用してインストールした既存の SQL Server を使用している場合、Cisco VXC Manager では混合モードの認証を使用します。Windows 認証モードだけを使用してインストールした既存の SQL Server を使用している場合、Cisco VXC Manager Database ユーザは SQL データベースにログインできず、Cisco VXC Manager Database のインストールに失敗します。したがって、SQL Server Configuration Manager を開いて、TCP/IP 接続を有効にします (SQL Server については、Microsoft 社のドキュメントを参照してください)。

ソフトウェア リポジトリ インストールのヒント

インストールまたはアップグレード時にリポジトリの設定を求められる場合、インストールの方法によっては、次の注意事項に従ってください。



ヒント

ネットワークに複数のサブネットがある場合は、大きなデバイス アプリケーションやイメージ ファイルをローカルに保存できるように、各サブネットに Cisco VXC Manager ソフトウェア リポジトリ (リポジトリ) のコピーの配置を検討します。ローカル リポジトリからサブネット上のデバイスにアップグレードを配信する際のネットワーク トラフィックが低減されます。

- リポジトリ通信に使用するプロトコルを選択する場合は、次の注意事項に従います。接続と読み取り/書き込み権限を確認するため、ウィザードにより FTP サービスへの接続が試行されることに注意してください。Cisco VXC Manager では既存の接続を確認するだけで、FTP サービスは設定しません。
 - FTP : FTP プロトコルを使用して、リポジトリからパッケージを Cisco VXC Manager にダウンロードさせる場合はこのオプションを選択します。



注意

ThreadX デバイスのファームウェア アップグレード機能を使用する場合は、FTP を設定する必要があります。

既存の FTP サービスを使用している場合、ウィザードにより IP アドレス、ユーザ名、およびパスワードの入力が求められます。

既存の IIS FTP サービスを使用している場合は、ウィザードにより、ローカル Cisco VXC Manager ユーザが作成され、そのユーザに IIS FTP サービスに対する読み取り/書き込み権限が割り当てられます。

- HTTP : HTTP プロトコルを使用して、Cisco VXC Manager でリポジトリからパッケージをダウンロードさせる場合はこのオプションを選択します。
- FTP と HTTP : FTP または HTTP のいずれかのプロトコルを使用して、Cisco VXC Manager でリポジトリからパッケージをダウンロードさせる場合は両方のオプションを選択します。両方のオプションが選択された場合、HTTP が最初に試行され、HTTP が失敗した場合は、次に FTP プロトコルが試行されます。



(注)

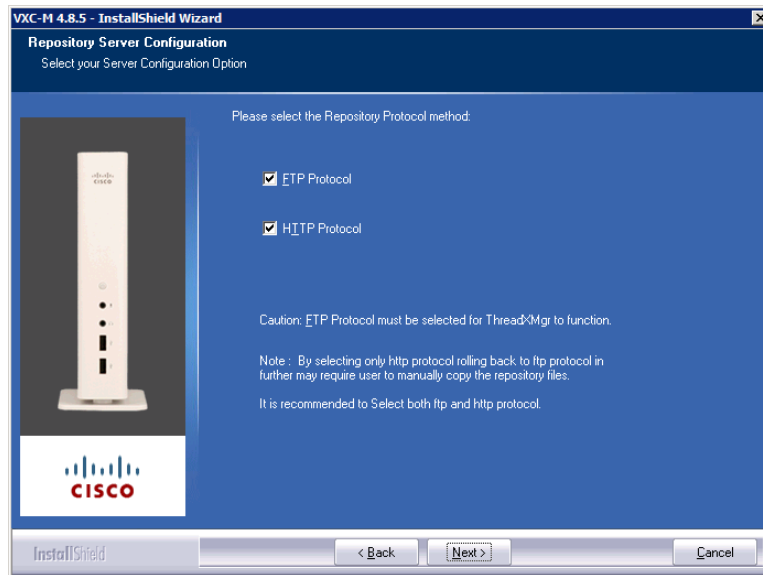
HTTP は有効であっても、OS に IIS が設定されていない場合、Cisco VXC クライアントをアップグレードしようとする、Cisco VXC Manager によってエラー メッセージが表示されます。エラー メッセージには、FTP を使用してアップグレードに成功している可能性がある場合でも、アップグレードに失敗したことが示されます。したがって、Cisco VXC Manager で使用する IIS が実際に使用可能な場合以外、HTTP オプションは選択しないでください。



ヒント

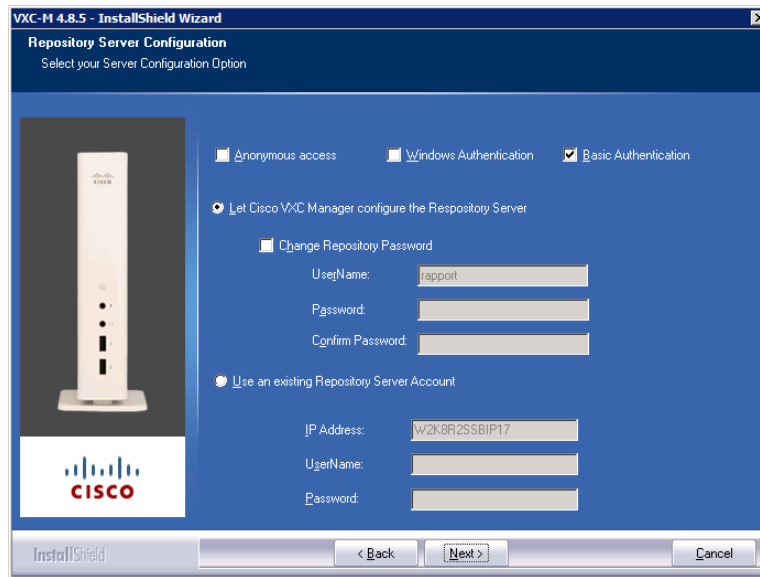
HTTPS は後から HTTP リポジトリで有効にしたり、設定したりできます。

図 2-5 リポジトリ通信プロトコル



- ソフトウェア リポジトリに適用する認証オプションを選択する場合は、次の注意事項に従います。任意のオプションの選択も、すべてのオプションの選択も可能であることに注意してください。3 つすべてのオプションを選択すると、**Windows 認証**が適用されます。
 - **[Anonymous Access]** : このモードでは、リポジトリにアクセスするためのユーザ名やパスワードは必要ありません。
 - **[Windows Authentication]** : これは、IIS における認証で最もセキュアな形式です。ログイン時、Windows NT でログインが検証され、ユーザ名だけがネットワーク上で送信されます。パスワードは送信されません。
 - **[Basic Authentication]** : この認証モードでは、システムにアクセスするために有効な Windows NT ユーザ名とパスワードによるログインが必要です。パスワードはネットワーク上をクリア テキストで送信されます。

図 2-6 リポジトリ認証



- `rapport` というデフォルト ユーザ アカウントの代わりに、既存のリポジトリ サーバアカウントがある場合（たとえば、既存の Cisco VXC Manager リポジトリ サーバをアップグレードしている場合や、既存の Active Directory を使用する場合など）、[Use an existing Repository Server Account] オプションを選択し、IP アドレス（またはサーバ名）、そのアカウントのユーザ名とパスワードを入力します。

複数の Administrator Console のインストール

Cisco VXC Manager 環境に Administrator Console (MMC スナップイン) の複数のインスタンスをインストールしていて、他の管理者による追加の Administrator Console のインストールが必要な場合は、次の手順を実行する必要があります。



注意

次の手順は、ローカル管理者用の Administrator Console の初回インストールには適しません。

手順

- ステップ 1** 『Administration Guide for Cisco VXC Manager』で説明されているように、Configuration Manager を使用して、Administrator Console インスタンスの最終的な管理者にするユーザを追加します。
- ステップ 2** 「インストールおよびアップグレードの手順 (Cisco VXC Manager)」(P.2-2) に説明されているように、Administrator Console (MMC スナップイン) のインスタンスをインストールします。このインストール後からステップ 3 を完了するまで、Administrator Console は Cisco VXC Manager Database または Cisco VXC Manager 環境のソフトウェア リポジトリに接続できなくなるためご注意ください。
- ステップ 3** Administrator Console のインスタンスをインストールしたら、Configuration Manager を使用して (『Administration Guide for Cisco VXC Manager』に説明されています)、Administrator Console のそのインスタンスの管理者権限を持たせるように、ステップ 1 で追加したユーザを管理者として編集します。

■ インストールおよびアップグレードの手順 (Cisco VXC Manager)